

NEWS Release

報道関係者各位

JAみえなか 郷土資料館 ～一志町から届けるシルクロード～ 蚕の飼育展示が始まります

JAみえなか（代表理事組合長：山本清巳）では、6月1日（土）から津市一志町にある当JA郷土資料館で蚕の飼育展示を開始します。同資料館では、一志町でかつて盛んだった養蚕業の歴史を現代に伝えるため、「蚕糸研究会」と「一志町歴史語り部の会」が中心となり、毎年蚕の飼育展示を行っています。今年度は5月21日（火）に掃立て（卵から羽化した蚕の移し替え作業）を行い、飼育を始めました。蚕が食べる桑の葉は当JA育苗センター（津市一志町日置80番地）の裏で栽培しています。蚕の飼育展示は全国的に見ても非常に珍しく、毎年たくさんの方が見学に訪れています。

○蚕の飼育展示について

【展示期間】令和6年6月1日（土）～6月25日（火）

※ 期間中は土日も飼育展示を行っています。

◆見ごろ◆

6月10日～15日ごろまで

（蚕の幼虫が大きくなり、桑の葉をムシャムシャ食べる姿が見られる）

6月15日ごろ～（繭を作り始める姿が見られる）

※蚕の生育状況によって期間が前後する場合があります。

【見学・給桑時間】

1回目 9：00～9：30

2回目 17：00～17：30

（時間内であれば自由にご見学いただけます）

【場所】JAみえなか 郷土資料館横体験室

（住所：津市一志町高野1204-1）



↑ 昨年度の飼育展示の様子

○蚕の飼育情報

【品種】

小石丸こいしまる…古来より飼育されている日本在来種。蚕の中で最も細く、しなやかな糸をはく。皇后陛下が飼育されることでも有名。

黄白おうはく…雌雄が違う色の繭を作る限性品種。オスは黄色の繭を、メスは白色の繭を作る。

春嶺×鐘月しゅんれいしやうげつ…春の気候に適した普通蚕品種（糸生産用品種）。

【お問い合わせ】※写真提供も致しますのでご相談ください。

JAみえなか 企画部 企画広報課（担当：西川）**※お手数ですが取材の際には事前にご連絡ください。**

TEL：0598-28-8822（事務所）、080-4177-6832（業務用携帯） FAX：0598-28-8034

Webサイト：<https://www.ja-mienaka.or.jp/>

E-mail：kikaku4@mienaka.jamie.or.jp